



難治性の手術にも多数の症例がある

白内障

眼科西坂医院

札幌市西区発寒6条13丁目1-6

☎011-667-2525 http://www.nishizaka-eye.com/

西坂紀実利 院長

にしざか・きみとし／札幌医科大学卒業、2012年5月開院。日本眼科学会認定眼科専門医、日本眼科学術学会、日本白内障屈折矯正学会、日本角膜学会、日本角膜移植学会各会員。

白内障手術は2カ月待ち。紹介を含め全道から患者が来院



北海道大学病院や道内の基幹

病院などに勤務した経験から、幅広い眼科疾患に精通する西坂紀実利院長。北大勤務時には角膜移植外来を担当したほか、難症例の白内障手術なども数多く手がけてきた。

開院から3年が経過し、他院からの紹介も含め全道各地から患者が来院している。特に白内障

1000例に達する見込みだ。

手術の増加に対応するため、開院当初は週1回だった手術日を現在は週2日に増やし、多い日では1日に9例を執刀している。それでも現在、手術は最短期間で2カ月待ちとなってしまうよううで、寄せられる信頼の厚さがかがえる。

「白内障手術は通常7〜8分。

障手術においては、今年に入ってから約7カ月間で実に300例を執刀。開院から実施した白内障手術の総数は早くも

日帰りの手術が可能です。2週間前後という極小の切開で実施するため、日常生活にもすぐに戻ることができま

す。安全最優先でおこなっており、開院以来重大な合併症は幸いまだ1例もありません」と西坂院長は自信を見せる。

白内障の患者は我慢に我慢を重ねるケースがほとんどで、重症化してしまう例も多いという。「手術への恐怖心、不安、高額などのイメージでなかなか来院に至らないケースが多い。実際は、高齢者であれば1割負担のため1万円程度で手術が可能で、痛みはほぼありません」

患者からは「こんなに見えるようになるなら早く手術を受ければ良かった」といわれるそう。でも「光がまぶしい」「眼鏡をして見えづらい」など白内障の

明るく丁寧な対応で好評のスタッフ



自覚症状を感じたら早めに受診してください。安全性の高い白内障手術ですが、あまりに進行してしまくと目への負担が大きくなる場合があります」と注意を喚起している。

加えて、白内障の認知度向上と同時に「自分は白内障だ」と思いこむ患者の増加も指摘。実は別の疾患の可能性もあるため、確かな診断を下せる専門医への受診も呼びかけている。

西坂院長はインフォームドコンセントにも力を入れており、診察室にある4台のモニターを活用。画像や動画で実際の目の状態を確認しながら丁寧な説明を心がけ、患者の不安や疑問を解消している。また、高齢患者の負担にならないよう診察室の椅子や検査機器は可動のものを採用し、患者の移動を極力抑えている。医療機器も充実しており、最新のOCTなども設置して緑内障の早期発見にも尽力している。